

# たかまつ市議会 レポート

## REPORT

平成23(2011)年8月1日発行(第152号)

● 高松市議会ホームページ ●

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/655.html>

### 自転車専用道の完成

本市では、自転車を利用しやすい環境整備の一環として、市道五番町西宝線に自転車専用道を整備しており、7月12日に一部400m区間の供用を開始しました。

平成23年  
6月定例会

夏号

### 目次

代表質問	2~4
一般質問	5~7
情報BOX	8

### 定例会の日程

6月28日	開会・提案説明・先議・討論・採決・委員会審査
7月 1日	委員長報告・討論・採決・代表質問
4日	代表質問
5~7日	一般質問
8日	常任委員会審査
12日	委員長報告・討論・採決・閉会



## 今定例会で決まった主な内容

- 補正予算
  - ▽ 複合的な価値を持つ屋島の資源を保存・活用し、屋島全体の活性化を図るための予算
  - ▽ コミュニティセンターの老朽度や耐震補強の必要性に応じた計画的な整備を行うための予算
  - ▽ 東日本大震災の被災地に継続的な支援を実施するための予算
  - ▽ 小中学校の普通教室など、すべての教室に空調設備を計画的に整備するための予算
  - ▽ 中央卸売市場における品質管理の高度化への対応や、施設の耐震安全性を確保するための予算
- 条例
  - ▽ 人工芝コートに改修する亀岡庭球場の使用料を改定するための条例改正
  - ▽ 奥の湯温泉の管理を指定管理者に行わせることができるようにするための条例改正
  - ▽ 都市計画区域のうち、用途地域が定められていない区域における開発許可を要しない開発行為の規模等を見直すための条例改正

平成23年第3回高松市議会定例会は、6月28日から7月12日までの15日間の日程で開かれました。今定例会では、平成23年度一般会計補正予算など18議案を可決しました。また、陳情2件を不採択としたほか、人事案件4件に同意し、農業委員会委員を推薦しました。

# 代表質問

各会派を代表して、中村順一（同志会）・吉峰幸夫（補う紙）・竹内俊彦（公明党）の3人の議員が質問しました。

## 質問の主な内容

### 中村順一議員（同志会）

政治姿勢・財政・防災・水道事業・まちづくり・屋島の活性化・市立病院・教育

### 吉峰幸夫議員（補う紙）

政治姿勢・財政・自治会加入率・地域防災対策・復興支援・公契約条例・入札制度・上下水道・選挙など

### 竹内俊彦議員（公明党）

政治姿勢・防災対策・自治運営・財政・自転車等利用のまちづくり・県内水道広域化・子育て支援など

## 政治姿勢

### 2期目の決意

マニフェスト2011に沿って、本市のさらなる発展を図る

### 質問

市長として再び各種施策・事業に取り組むことを願うが、2期目に臨むに当たっての決意は。

【同志会】

市長の奮闘を期待するが、今後4年間の市政運営に対する決意は。

【補う紙】

マニフェストの施策の具体化、実行に邁進してもらいたい。市政2期目を預かる決意は。

【公明党】



【答 弁】 本市の目指すべき都市像「文化の風かおり光かがやく瀬戸の都・高松」の実現を目指し、これまでにも増して誠心誠意、全身全霊を込めて任務に当たる決意を強くしている。

1期目では、第5次高松市総合計画の策定や自治基本条例の制定など、今後のまちづくりの確実な基礎が築けた4年間であった。

2期目では、これまでに築き上げた確かな土台の上に「高松クリエイティブ・イノベーション 創造性豊かな海園・田園・人間都市へ」をテーマとするマニフェスト2011で示した方向性に沿って、各分野の政策・施策を、より具体的な内容として実行に移し、市議会をはじめ、市民の支援と協力を得ながら、本市のさらなる発展を図る。

## 地域主権

### 地域主権関連3法の成立

地方分権改革は一步前進と評価するが、さらなる改革を国に働きかける

### 質問

4月28日、国と地方の協議の場に関する法律などの、いわゆる地域主権関連3法が成立したが、所見は。【同志会】

【公明党】

特に国と地方の協議の場の法制化実現は、地方行政に影響を及ぼす重要課題を協議する上で、きわめて大きな意義がある。また、同3法により、地域住民が、みずからの判断

と責任において地域の諸課題に取り組むことができる制度的裏づけがなされ、地方分権改革は、さらに一步前進したと評価しているが、税財源配分などの重要課題は残されているので、さらなる改革を国に働きかける

## 防災

### 地域防災計画の見直し

津波緊急避難施設を今秋に指定



### 質問

東日本大震災を受けて、市民の防災意識が高まった今、市でもできる防災対策から着手すべきだが、地域防災計画の見直しに当たり特に留意する点は。

【同志会】

今回の大震災を機に、一歩踏み込んだ地域防災のあり方を検討しなければならぬと思うが、同計画見直しに当たっての今後のスケジュールは。

【補う紙】

本市でも同計画で想定している災害の規模が適切か確認した上で、必要な防災事業を力強く進めるべきだ

が、災害の想定規模の見直しと対策は。【公明党】

【答 弁】 同計画の見直しは、国・県の被害想定見直しの動向を注視していく必要があるが、一定の期間を要するため、市独自で見直しが可能な津波浸水域内の指定避難所の検証などについて、既に検討作業を進めているほか、災害時の企業等との協定の見直しも早期に着手する。

特に、津波緊急避難施設の指定は、今後、自主防災組織等の意見も参考に、国・県・民間施設等にも協力を要請し、今秋を目標に指定を行う。



亀阜校区防災訓練

### ため池の震災対策

周辺住民の安全で安心な環境整備に努める

### 質問

市内にある約2千700のため池の中には、老朽化したものが少

なからずあるので、震災対策のため、ため池ハザードマップを早急に作成すべきかどうか。

【市議会議員】

想定を上回る地震の対応に限界があるので、防災意識の向上と、ハザードマップを組み合わせたような対応が必要である。

今後、過去の災害時等の状況把握や既存の防災マップとの関連づけなども整理し、県が創設予定の「ため池ハザードマップ緊急支援事業」の有効活用も含め、ため池周辺住民の安全・安心な環境整備に努める。

被災者支援システムの導入を検討

阪神・淡路大震災で被害を受けた西宮市が独自開発した被災者支援システムは、被災状況を入力することで被災証明書の発行などが一元的に管理できるシステムである。東日本大震災後に導入した自治体でも効果を発揮しているが、同システムを導入する考えは。

【公明党】

本市では平成16年の台風災害を教訓に、災害時に利用度が高いシステムとして、20年度に被災証明システムを開発したが、西宮市の被災者支援システ

ムは、被災状況や避難所の入居情報など幅広い分野への活用が可能なので、今後、導入を検討する。

市立病院

市立病院は地域づくりに貢献するために存在することをもつ一度認識

本市病院事業では、今年度から地方公営企業法を全部適用するとともに、経営責任の明確化や意思決定の迅速化を図るため、塩谷泰一氏が病院事業管理者に就任したが、所信は。

【同志会】



市立病院は、市立病院のために存在するのではなく、地域社会のニーズを満たし、地域づくりに貢献するために存在することを、もう一度深く認識したい。

さらに、すべての職員がファインチームワーク精神のもと、心を一つに合わせ、働きがいを実感できる豊かな職場づくりに努める。

市民に「市立病院があるから安心して暮らせる」と言われる病院を実現

市民から信頼される新病院建設を目指す中で就任した病院事業管理者の病院事業運営に対する決意は。

【市議会議員】

「組織は人なり」と言われるように、健全な病院運営を行うためには、すべての職員が心を一つにしなければならぬ。また、よい医療は、数多くの職種が、それぞれの専門性を発揮しながら互いに連携し助け合うことによつて、初めて提供できる。

すべての職員とともに、このファインチームワークの精神を共有しながら、市民に「市立病院があるから安心して暮らせる」と言われる病院の実現に向けて精いっぱい努力する。

経営健全化に取り組みながら、新病院整備事業も推進し、地域医療に貢献

地域医療を守るセーフティネットとして、本市病院事業が自己変革を果たすべきと考えるが、自治体病院としての事業展開は。

【公明党】

市民病院では、地域医療支援病院の承認を目指した電子カルテなどの導入、塩江分院では、「地域まるごと医療」の実践、香川診療所では、「私のカルテ」の発行等の事業を展開したいと考えている。

また、税が投入されている自治体病院として、しっかりと経営健全化に取り組みながら、新病院整備事業も着実に推進し、地域医療に貢献する。

本市医療全体の最適化に向け、新病院基本計画を変更

本市新病院基本計画の変更案で、黒字事業の人間ドック廃止や、歯科口腔外科設置の取りやめを検討するなどが示されたことは疑問に感じるが、変更にあたっての基本的な考えは。

【同志会】

本市医療全体の最適化に向けて、急性期病院としての明確な位置づけなど三つの基本的な考え方に基づき、同計画の変更を進めている。

今後、市議会での議論や市歯科医師会の要望も踏まえ、歯科口腔外科の標榜については検討するとともに、市医師会などと協議を進め、市議会の意見も聞きながら新病院づくりに取り組む。

まちづくり

高松空港振興期成会を推進母体とし、空港の利用促進などに県ともども取り組む

高松空港が四国の拠点空港として活性化していくには、国内外の航空ネットワーク強化による利便性向上が重要なため、県と協力して空港の利用促進・活性化に取り組む考えは。

【同志会】



高松一上海間の定期チャーター便

中国・上海との定期チャーター便就航により、他県からの幅広い層の利用が見込まれることから、高松空港振興期成会を推進母体とし、国際線では、高速バスの乗り継ぎ利便性の向上など、また、国内線では、広域アクセスの改善などの空港の利用促進・活性化策に、県ともども積極的に取り組む。

屋島活性化基本構想(仮称)を策定

【質問】 屋島は市民が愛し、誇りとする地域資源だが、観光客の減少などから、その活性化が喫緊の課題なので、今後設置される屋島会議(仮称)では、活性化にどう取り組むのか。【同志会】

【答弁】 屋島全体の活性化を図るため、長期的かつ総合的ビジョンとして屋島活性化基本構想(仮称)を来年を目標に策定する。策定には、学識経験者や市民活動団体などで構成する同会議を設け、地元関係者や国・県などにも参加してもらい、民間活力の導入も含めた幅広い検討を行う。

コミュニティセンター改築 優先度に応じて、早急に対応

【質問】 去る6月に、耐震強度の不足など一定の条件を満たすコミュニティセンターは、改築を検討するとの整備方針が示されたが、緊急度の高い施設から改築すべきなので、早急に1施設からでも地元協議に入る考えは。【市・市民】

【答弁】 コミュニティセンター中期整備方針に基づく早期の耐震化と建物の長寿命化を基本としつつ、改築を検討するとした、このたびの整備方針に基づき、優先度に応じた地元協議を行うなど、早急に対応する。

【質問】 コミュニティセンター職員は、センターの管理業務に加え、各地域コミュニティ協議会の事務局としての業務を担っている場合も多いので、同協議会の事務局体制の整備に対する支援が必要と思うがどうか。【市・市民】

【答弁】 同協議会の事務局とセンターの管理業務について、適切に役割分担をした上で、今年度末までは配置されている地域推進員の有効活用を促すとともに、その後は、マネフェストにも掲げているとおり、自主的な事務局体制の強化について適切に支援する。

水道事業 水道広域化

【質問】 県及び関係水道事業者と望ましい広域化のあり方について検討・協議を重ねる

【答弁】 去る3月、香川県水道広域化専門委員会は、知事に県内一水道を目指して広域化を推進すべきとする提言書を提出しました。

【質問】 広域化には、本市水道事情を改めて見直し、効果と課題を検証した上で、慎重に取り組むべきだが、提言書に対する所見は。【同志会】

【答弁】 知事は、広域化への協議のため、香川県水道広域化協議会を今年8月にも開催したいと表明したが、同協議会に参加するに当たっての考えは。【市・市民】



【答弁】 広域化には、香川の一元管理による安定給水などの効果がある一方、市町間の水道料金の格差などから、特定の水道事業者に費用負担が偏ることがないよう、ルールづくりが必要となるなどの課題がある。本市での、今年4月の上下水道局の統合効果が損なわれないよう、慎重に対応

教育・文化

各学校の防災計画等を見直し安全・安心な学校づくりを推進

【答弁】 する必要があり、また、広域化の中心となるので、同協議会に参加し、県及び関係水道事業者と連携・協力しながら、望ましい広域化のあり方について、さまざまな観点から、具体的な検討・協議を重ねる。

【質問】 東南海・南海地震での被害想定が見直され、浸水予想区域が広がれば、多くの学校等で浸水対策が必要となることから、学校等の防災計画を実効性のあるものに見直し子供たちの安全確保に備える考えは。【同志会】



津波も想定した屋島西小学校の避難訓練

【答弁】 東南海・南海地震に備え、防災計画等の見直しが急務なので、各学校に地震発生時の避難等について見直すべき視点や対応を示したところであり、また、専門家との連携・協力体制を整え、実務研修会を開催する等の支援を行う。今後も、各学校の実情に応じた防災体制の確立と防災教育の一層の充実を図り、安全・安心な学校づくりを推進する。

【質問】 文化芸術を柱とした国づくりでは、地方での、さまざまな文化の営みが、文化の薫り高い日本の礎となる。市長もマニフェストで芸術文化振興条例(仮称)の制定を掲げているが、同条例制定のスケジュールは。【公明党】

【答弁】 本市の文化振興の基本理念や枠組み等を定める同条例の制定には、制定過程での市民参画のあり方が特に重要である。今後、市民や文化芸術関係者等の意見を聞き、市民意識の醸成にも留意しながら、次回の瀬戸内国際芸術祭等が開催される平成25年度中の制定を目指す。

# 一般質問

市政の、さまざまな課題について、16人の議員が質問しました。

## 一般質問

**中小企業基本条例（仮称）  
制定の基本的な考え**  
西岡章夫議員（同志会）

**質問** 活力ある地域づくりには、活気ある中小企業の育成が重要なので、市長のマニフェストにある中小企業基本条例（仮称）の制定が急務だが、制定に当たっての基本的な考えは。



**答弁** 制定に当たっては、本市中小企業の振興理念や市の役割などを明確にするともに、制定過程では、中小企業者等の参加

が重要なので、経営者なども参加する中小企業基本条例制定懇談会（仮称）を設置し、業界の現状や課題、将来展望など、幅広く意見を聞く。  
【他の質問▼病院事業の経営の改善など】

**介護現場における介護従事者の処遇改善を**  
大西 智議員（補う紙）

**質問** 介護現場で増加する介護ニーズにこたえるには、介護従事者の資質向上が不可欠であり、そのため、それに見合った処遇改善が必要ではないか。

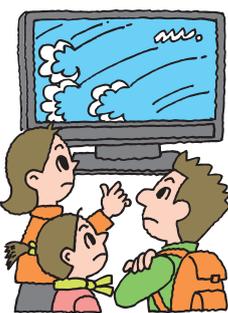


**答弁** は、介護報酬の引き上げや、介護職員処遇改善交付金の創設により、一定の改善が図られたが、十分ではなく、同交付金も今年度末までのため、恒久化すべきとの提言を、全国市長

会から国に提出している。  
【他の質問▼待機児童の現状と解消の見通し】

**避難所でテレビが視聴可能な環境整備と停電対策のため、関係団体と協定締結を**  
大山高子議員（公明党）

**質問** 本市では、避難所として学校施設が指定されているが、使用に際し、さまざまな不具合や不便が生じている。特に、非常用電源の確保などは大きな課題なので、避難所でテレビが視聴可能な環境整備と、停電対策等の協定を関係団体と結ぶ考えは。



**答弁** 東日本大震災を受け、災害時の企業や団体との災害協定についても早期の見直しに着手することとしており、避難所でのテレビの視聴環境整備や停電対策等についても、見直し課題の一つとして検討

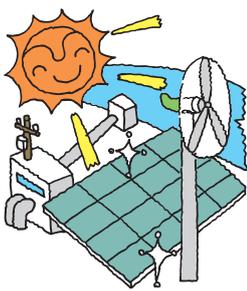
する。

【他の質問▼省エネ政策・放課後児童クラブなど】  
**原発依存から再生可能エネルギーへの大胆な転換を**  
岡田まなみ議員（無所属）

**質問** 市民の命を守る責任がある市長として、伊方原発を含む原発からの撤退を求めるべきだが、原発に依存したエネルギー政策から再生可能エネルギーへの大胆な転換への所見は。

**答弁** 原発のあり方や、再生可能エネルギーの活用等は、国が長期的な方針を立て、決定すべきだが、その方向性は、再生可能エネルギーを中心とした代替エネルギーの活用を積極的に図り、原発への依存率引き下げに努めるべきと考える。

【他の質問▼新病院・生活保護・国民健康保険など】



**自然災害の少ない本市への企業誘致を**  
二川浩三議員（無所属）

**質問** 東日本大震災により、被災地周辺の高い範囲で多くの製造業が移転等をしている今が、地震・台風など自然災害が少ない本市にとって企業誘致のチャンスなので、早急に県・市トップ会談を行い、プロジェクトを進める考えは。



**答弁** 自然災害が少ないという本市の地域特性や、新たな航空路線開設を絶好の機会としてとらえ、企業誘致活動を喫緊のプロジェクトとして取り組むとともに、県との協議を行いながら、経済団体などと連携した誘致活動を推進する。  
【他の質問▼枕川ダム建設の再検証】

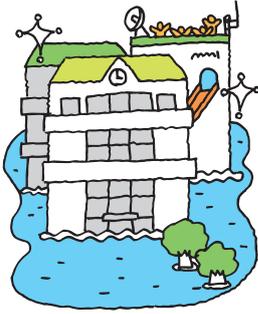
**栗林小学校の改築に当たり地域の安心安全の担保を**  
香川洋一議員(無所属)

**質問** 栗林小学校は、市内で最も古い校舎であり、また、緊急車両の進入にも問題があることから、PTA等から移転要望が出されている。学校は、災害時に地域の安心安全を担保する施設でなければならぬが、改築への所見は

**答弁** 現在地と移転での建てかえの両面で同校の改築を検討しており、今秋ごろには方向性を決定し、基本設計の策定につなげる。

また、災害時の地域住民の安全性確保にも配慮が必要なので、備蓄倉庫等を配備した、地域の安心安全の拠点機能も有する施設として整備する。

【他の質問】▼市役所における書面協定見直しなど

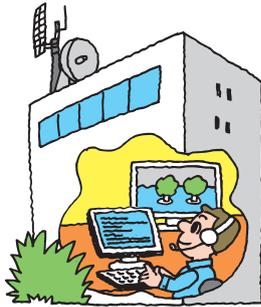


**防災行政無線牟礼町地区でのデジタル方式への更新時期**  
井上孝志議員(同志会)

**質問** 本市の防災行政無線は、平成27年度までにデジタル方式に移行する計画だが、牟礼町地区での更新時期は。

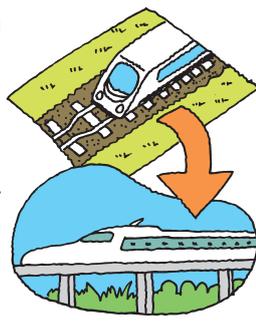
**答弁** 同地区では、25年度にアナログ式からデジタル式に更新する計画だが、更新に当たっては、合併町地区が本庁舎内の災害対策本部から遠いため、合併町地域単位での利用も可能な放送体系を検討している。

【他の質問】▼道路行政・牟礼老人福祉センターなど



**フリーゲージトレイン導入からフル規格新幹線導入に政策転換を**  
落合隆夫議員(同志会)

**質問** 四国内の鉄道高速化を早急に図るべきだが、フリーゲージトレインは開発技術がおくれているなど課題も多いので、フル規格新幹線導入に政策を転換する考えは。



**答弁** フリーゲージトレインやフル規格新幹線導入は、今後、国や四国4県などで構成する「四国における鉄道ネットワーク」のあり方に関する懇談会の最終提言を踏まえ、県を中心に組織する「香川県JR四国線複線電化・新幹線導入期成同盟会」を推進母体に、四国の鉄道高速化が早期に図られるよう、鋭意取り組む。

【他の質問】▼災害発生時の対応と安全対策など

**新病院に産婦人科外来と、院内助産所又は院内助産院の設置を**  
岡野朱里子議員(補選)

**質問** 助産院での出産を希望する妊婦がふえているが、病院で診察を受ける必要があるため、助産所と病院の両方のよさを持つ助産師外来と、院内助産所又は院内助産院を新病院に設置する考えは。

**答弁** 助産師外来等の設置は、妊産婦の多様なニーズにこたえらることも、産科医師の負担軽減などの効果が期待できる。

今後、本市の医療全体の最適化の観点から、新病院での設置の可否について検討する。

【他の質問】▼国との人事交流と民間人登用など



**新病院に認知行動療法の導入を**  
田井久留美議員(公明党)

**質問** うつ病になりやすい考え方の偏りを面接の中で修正していく

認知行動療法は、昨年度の診療報酬改定で保険適用されたが、新病院に同療法を導入する考えは。



**答弁** 総合病院における精神科医療の重要性は十分認識しており、精神科医師の不足という現実はあるが、今後も、その充実に努め、本市の医療全体の最適化の観点から、新病院での同療法の導入の可否を検討する。

【他の質問】▼高齢者・介護家族への支援対策など

**農業振興計画を具体化する施策**  
神内茂樹議員(同志会)

**質問** 高齢化等による鳥獣問題など、今後の地域農業について憂慮する声を多く聞かすが、市農業振興計画を具体化する施策は。



**質問** 人が住むことは、本市の大きな財産であり、定住促進策は地域の活性化につながるので、空き家バンク制度創設の考えは。

**佐藤好邦議員(同志会)**

【他の質問▼カマタマール讃岐への支援など】  
 進や農地保全対策の充実を図るとともに、農業者などによる生産から加工・販売までの一体化を促進し、農業が魅力ある産業となるよう努める。



**答弁** 学校給食などへの地元農産物の利用促進

**答弁** 地域の身近な公園としての利用は、コミュニティ機能の確保などからも有効

**質問** 本市では、1校区1公園を目標に公園の整備を進めているが、東南海・南海地震の発生が予測される中、今後、整備予定の公園を、仮設住宅建設用地として活用できるようにする考えは。

**白石義人議員(同志会)**

**答弁** 大都市圏からの移住・交流の効果的な促進を目的として、先進地域での取り組みの調査研究を行っているほか、今後は、香川県移住・交流推進協議会などと、同制度の具体的な検討や協議を予定している。

今後、空き家の再生と活用による地域の活性化策の一つとして、まずは過疎地域や離島を対象に、同制度のモデル的な実施を検討する。

【他の質問▼高松競輪場施設の活性化方策など】

**答弁** 今定例会で補正予算に計上している、ゆめづくり推進事業などを活用し、地域の課題解決を行いながら、それが自主財源の確保にもつながるよう

**質問** イ協議会は地域に即したコミュニティビジネス等、さまざまに創意工夫をし、自主財源の捻出に大変苦労しているが、同協議会が自主財源を確保するための支援策は。

**川崎政信議員(同志会)**



なので、今後、新たな公園の整備に当たっては、地域の意見も聞きながら、防災施設の整備とともに、仮設住宅が建設できるスペースの確保も念頭に検討する。

【他の質問▼こども未来館(仮称)など】

**答弁** 屯所の整備については、施設の老朽度や用地の確保状況等を総合的に踏まえた上で、各分団の定員に応じた広さを確保して建てかえ等を実施しており、今後とも計画的な整備に努める。

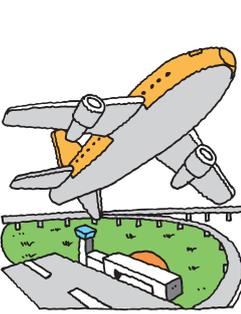


**質問** 消防団員の増員に伴う消防屯所の環境整備や、幹線に面していない屯所の改築を進めるべきと思うが、今後の消防屯所整備の考えは。

**大見昌弘議員(同志会)**



【他の質問▼高齢者の生きがいづくりなど】



**答弁** 同道路の整備は、中讃・西讃や東予方面の人が同空港を利用しやすくなるとともに、空港の交通拠点性の向上や地域の活性化に重要なので、早期に事業が再開されるよう、今後とも県に働きかける。

【他の質問▼新病院と附属医療施設など】

**質問** 高松空港の活性化には、高松西インターから同空港への高規格道路の早期完成が急務で、7月15日の上海便就航を契機に、持続性のある空港とするためにも、引き続き、県に対し、早期事業化を要請する考えは。

**辻 正雄議員(同志会)**

【他の質問▼AED設置等・教育問題など】

## 委員会のその他活動など

### ●所管事務調査

常任委員会が所管する事務の中でテーマを設け、議会の閉会中も継続して調査します。今定例会で決まった各委員会のテーマは、次のとおりです。

総務消防	文化芸術の振興方策について
教育民生	歴史遺産の保存と活用について
経済環境	エコシティたかまつ推進プロジェクトについて
建設水道	中心市街地における駐車施設のあり方について

### ●特別委員会

特定の問題を審査・調査する会で、次のとおり開かれました。

新病院等整備	6月23日・7月7日	新病院基本計画の変更について説明を受け、協議しました。
--------	------------	-----------------------------

### ●調査会

重要な施策などについて、常任委員会ごとに説明を受ける会で、次のとおり開かれました。

総務消防	6月6日	男女共同参画センター移転整備基本構想(案)、コミュニティセンターの整備
	7月8日	第4次職員数の適正化計画(案)

## 議会改善検討委員会

今後の取り組み項目について協議するため、6月20日に開催し、今年度は、議会情報の発信について協議することにしました。

## 永年在職議員表彰

### ●高松市議会表彰(20年以上在職)

二川 浩三 鎌田 基志  
 菰 渚 将鷹 山崎 数則  
 綾野 和男(元議員)  
 綾野 敏幸(元議員)

### ●全国市議会議長会特別表彰(20年以上在職)

二川 浩三 鎌田 基志  
 菰 渚 将鷹 山崎 数則  
 綾野 和男(元議員)  
 綾野 敏幸(元議員)  
 多田 久幸(元議員)

## 委員会の議案審査

各委員会での審査が、次のとおり行われました。  
 《常任委員会》

総務消防	議案 11 件 (可決)	陳情 1 件 (不採択)
	ゆめづくり推進事業、たかまつ大道芸フェスタ事業、塩江ケーブルネットワーク施設条例の一部改正などについて審査しました。	
教育民生	議案 2 件 (可決)	陳情 1 件 (不採択)
	障がい者社会参加推進事業、がん対策推進事業、子ども条例(仮称)制定事業などについて審査しました。	
経済環境	議案 3 件 (可決)	
	有害鳥獣被害対策、水路・ため池・農道の整備事業等への補助などについて審査しました。	
建設水道	議案 5 件 (可決)	
	コンパクト・エコシティ推進事業、特定用途制限地域内における建築物の制限に関する条例の一部改正などについて審査しました。	

## 人事案件

次のとおり選任に同意しました。

- 副市長  
勝 又 正 秀
- 監査委員  
吉 田 正 己 氏  
山 下 稔 氏
- 公平委員会委員  
池 田 清一郎 氏

## 農業委員会委員

7月19日の任期満了に伴い、次のとおり推薦しました。

菰 渚 将鷹 大橋 光政  
 吉 峰 幸夫 神内 茂樹